



大分県議会議員 2024年 秋号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

2024年 大分県議会第3回定例会

大分県議会第3回定例会が9月4日(水)から24日(火)にかけて行われました。

開会冒頭、元吉俊博議長が体調不良で議長を辞任したことによる議長選挙が行われ、嶋 幸一議員【自民党・別府市選出】が第76代議長に就任しました。所属会派は異なりますが、同じ別府市選出の議員として嶋議長の就任を祝福し活躍を期待しています。

上程された議案は、大規模災害に備える防災対策強化事業費などを盛り込んだ本年度一般会計補正予算案（補正額101億2,801万5千円・累計7,001億782万9千円）など31議案です。

新規事業は、災害時の通信障害発生に備えた代替手段として、県の災害対策本部や

各振興局に衛星通信機器を導入する災害時通信強化事業（585万円）。来年4月に始まる大阪・関西万博での

大分県ブースの出店準備を進める大阪・関西万博出店事業（550万円）などです。また、2023年度会計で出た決算剰余金79億3,982万円を財政用調整基金などに積み立てます。

その他、県が関係する各種団体の経営状況など報告34件、県行財政改革計画と県長期総合計画の策定案、一般・特別会計の決算認定案などが提出されました。

最終日に全て可決されました。



議会報告の様子(2024.9.7)

大分県の最低賃金が954円になりました 全国一律最低賃金は夢物語でしょうか…

大分地方最低賃金審議会は2024年度の大分県内の最低賃金（時給）を55円（6.12%）引き上げ、954円とするよう佐藤広道・大分労働局長に答申し決定しました。これまでの最低賃金は899円で、引き上げ幅は国が示した目安の50円より5円高いものです。

時給で示すようになった2002年度以降では、引き上げ幅は4年連続で過去最大となり、10月5日から適用されます。

審議会では、物価高騰などが続く中、福岡県など賃金が高い地域に人材が流れる懸念などが議論されたと聞きます。

私の前回の議会報告で、大分県より福岡県の最低賃金が高いため、県境部では人材流出が起きていることを報告しました。

私は全国の最低賃金の差を時間をかけて縮めていき、将来的に全国一律とすべきだと考えています。

もちろん、物価の違いもあり、すぐにはできないことも承知していますが、この賃金格差がある限り地方の人口減少は解消できず、都市部と地方の格差は広がったままです。ちなみに、アメリカやフランスでは全国一律の最低賃金となっています。

賃金と同じなら、住居費や物価の安い地方に住もうと考える方が多くなると思いませんか？これは夢物語でしょうか？

私は社会の方向性を議論するのは議会の役割だと考えていますから、議場で発言していると考えています。

注1 アメリカでは州によって加算される場合もあります

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。